

2003年4月1日～2018年3月31日までに当リハビリテーションセンターを外来受診し、就学前より言語評価ならびに言語訓練を小学校3年生以上まで実施した患者さん及び保護者の皆様へのお知らせ

課題名：言語発達障害児の長期予後の検討

## 1. 研究の対象

2003年4月1日～2018年3月31日までに当リハビリテーションセンターを外来受診し、言語評価ならびに言語訓練を就学前から小学校3年生以上まで継続して実施した患者さん

## 2. 研究目的・方法

言語発達障害は学童期の学習障害への影響が大きく、言語障害を学習障害にしないことは私たち言語聴覚士にとって重要な課題であると考えています。そのため本研究では、言語評価ならびに言語訓練を就学前から学童期まで継続して行った患者さんについて長期にわたる検査結果、それぞれの学年での教科学習の問題点を合わせてどのような言語の問題が学習に影響を与えるのかを明らかにし、今後の言語訓練に活かすことを目的としています。長期にわたって言語訓練を行うことはあまりなく、貴重な症例ですのでご協力をお願い致します。

研究方法は、言語訓練のための評価として通常診療で行った言語検査ならびに知能検査の結果のデータを分析し、言語障害別および知能検査結果による発達指数（あるいは知能指数）別に就学後に聴取した教科学習の問題点を比較し、言語障害が教科学習におよぼす影響を検討します。また、就学前に実施された検査結果による学童期の学習障害の予後因子を検討します。

## 3. 研究に用いる情報の種類

診療録から以下の項目を使用します。

初診時年齢、性別、言語障害の種類、言語検査結果、知能検査結果、問診より得られた教科学習の問題点などの情報

なお、個人が特定されうる情報は対応表を作成し、匿名化を行った後に分析いたしますので個人情報情報が漏れることはありません。研究成果は学会発表や論文作成を行います。

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問や詳細についてお知りになりたい方、ならびにデータを研究に使用されることに同意いただけない場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。その場合でも診療に不利が生ずることはありません。ご希望があれば他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書などを閲覧することができますのでお申し出ください。

## 5. 利益相反

本研究は研究責任者の教員研究費を使用して実施されます。また、本研究に影響を及ぼすような資金の受け入れはありません。

研究責任者：川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター

言語聴覚士 小坂 美鶴

Tel: 086-462-1111 (内線: 22820・54929・54837)

E-mail: kosakami@mw.kawasaki-m.ac.jp